

◆練習問題◆

⇒p.13

1 (1)① 6本少ない ② 南へ30m移動する

(2) A…-6点, B…+15点, C…-12点

2 (1) 

(2) -7, +3 (3) -1, 0, 1

3 (1)① -5 ② 0 (2) 5つ

(3) +3, -3, +4, -4

4 (1)① $-1 < -\frac{1}{3} < 0$ ② $-\frac{3}{4} < -\frac{2}{3} < -\frac{1}{2}$

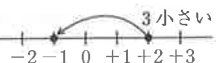
(2) 最も大きい数…6, 最も小さい数…-8

(3) -3, -0.5, $-\frac{1}{5}$, 0, $\frac{3}{2}$, +2

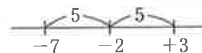
(4) -5 (5) -3

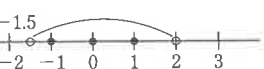
解説

1 (2) 基準の60点より, 54点は6点低く, 75点は15点高く, 48点は12点低い。

2 (1) 

(2) 距離が5の点は正の方向と負の方向のそれぞれにあることに注意する。



(3) 

3 (1) 絶対値は順に, 2.5, $3\frac{1}{2}$, 0.4, 5, 0, $\frac{5}{2}$

(2) 絶対値が2, 1, 0となる数だから, +2, -2, +1, -1, 0の5つ。0を忘れやすいので注意。

(3) 絶対値が3と4になるものを答える。

4 (1)② 小数になおして絶対値を比べるとよい。

$$-\frac{2}{3} = -0.66\cdots, -\frac{3}{4} = -0.75, -\frac{1}{2} = -0.5$$

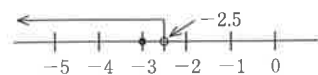
(2) 小さい順に並べると, -8, -1, 0, 6

(3) 正の数, 0, 負の数に分けてから, 正の数どうし, 負の数どうしの大小を考えるとよい。

(4) -6より大きい整数は, -5, -4, -3, …



(5) $-\frac{5}{2} = -2.5$ 。数直線で考えるとよい。



2 加法と減法(2数の加減)

◆問題◆

⇒p.14~p.15

問題1 (1) +9 (2) +43 (3) -8
(4) -32

問題2 (1) +1 (2) +4 (3) -3
(4) -6 (5) +4 (6) +2
(7) -4 (8) -5 (9) 0
(10) 0

問題3 (1) -0.6 (2) +0.6 (3) $-\frac{6}{7}$

(4) $-\frac{6}{5}$ (5) $-\frac{5}{6}$ (6) $-\frac{7}{15}$

(7) -7 (8) -4

問題4 (1) -4 (2) -9 (3) +9

(4) +21 (5) -5 (6) -14

(7) -7 (8) +12 (9) +7

(10) -6

解説

問題1 まず符号を決めてから, 絶対値の計算をする。
同符号の和だから, 符号は共通の符号になる。

問題2 異符号の和だから, 絶対値の大きい方の符号を選び, 絶対値の差を計算する。

(9), (10) 絶対値が等しい異符号の2数の和は0になる。0は正の数でも負の数でもないから, 符号はつけない。

問題3 小数や分数のときも, まず符号を決め, 次に絶対値の計算をすればよい。

$$(5) \text{ 与式 } = -\left(\frac{1}{2} + \frac{1}{3}\right) = -\left(\frac{3}{6} + \frac{2}{6}\right) = -\frac{5}{6}$$

(7), (8) $\bigcirc + 0 = \bigcirc$, $0 + \square = \square$

問題4 ひき算は, ひく数の符号を変えて加える。

(9) 0からある数をひくことは, その数の符号を変えることと同じである。

(10) $\square - 0 = \square$

◆基本問題◆

⇒p.16

1 (1) -8 (2) -14 (3) -2

(4) -3 (5) +6 (6) -1

(7) 0 (8) 0 (9) -10

(10) -15 (11) -16 (12) -43

2 (1) -0.2 (2) -0.5 (3) -3.3